

ぴあかんすい No.4

<http://www.kansai-u.ac.jp/gakusei/>



あなたのそばにキラリと光る関大生がいる。千里山、高槻、さらに学外で積極的に動き、進化を遂げてきた実力派。関大キャンパスは隣に座る仲間の持つ輝きを感じ取れるところ。あなたも個性で高い能力を持つ関大生……さあ、共に前へ進む春が来た。

フィギュアスケート女子 国体準V

澤田亜紀

いつでも前向き姿勢の跳躍者



PROFILE 【さわだ・あき】

1988年10月7日生まれ。大阪府出身、京都外大西高一文学部3回生。幼稚園の頃、京都・醍醐スケート場の無料体験へ母親に連れられて行ったのがきっかけ。2005年全日本ジュニア選手権優勝、07年四大陸選手権4位など国内、海外の大会で活躍。総合関関戦などでの他クラブの応援も熱心。

高槻キャンパスのアイスアリーナで2月14日に開かれた「高槻市民ウィンタースポーツデー」のトリをつとめた。直前の冬季国体フィギュアスケート成年女子で準優勝したときの、黒を基調とした衣装で舞った。切れのいいジャンプが持ち味。「私の場合、3日跳ばなかったらジャンプの軸がぶれてしまうので」と大晦日、元日の連続休み以外は氷に乗る。

高校時代に、京都で本拠地していたリンクがなくなった。大阪など練習場への移動に時間を費やす毎日だった。だが、座右の銘にしている「不撓不屈」の精神で前に進んだ。

新しいものや、より深いものに取り組む姿勢が旺盛だ。文学部では身体運動文化専修。スポーツ心理学や関大のスポーツの歴史も学ぶ。スポーツクラブでインストラクターのアルバイトも始めた。「全く運動をしていなかった人から、これはどうしたらいい? などと聞かれます。自分とは違う視点。答えるために調べます。勉強します」と、多角的に運動をとらえている。

フィギュアスケートで6種類あるジャンプでは「アクセルが好き」という。唯一姿勢を前向きにして踏み切る。難易度は高い。アクセル好きは、何事にも前向きな挑戦者ならでいい。

困ったことが一つある。京都の自宅から文学部へ通う電車の通学定期券は手に入っているが、練習の行き帰りに必要な高槻キャンパスへのバス定期券が通学用として購入できない。

「なんとかなれば、うれしいです」。学部の教室-アイスアリーナ、1日2回のこともあるという移動は、まだ2年間続く。

関西屈指の学生ダンサー

高橋宏文

キャンパスを美しくするうさぎ



PROFILE 【たかはし・ひろふみ】

1987年7月15日生まれ。長野県出身、松本嬢ヶ崎高一法学部3回生。SYMBAL vol.5 準優勝(京阪神学生ダンサー 3on3)、D-SPEC vol.2 優勝、D-SPEC vol.3 優勝、グダグダナイトB-BOYバトル2on2 ベスト8、BUZZSTYLE スタッフ。

B-BOYネームは兎(うさぎ)。「ダンスバトルで、高橋の名前じゃ、たぶんわからないです」。愛用のキャップにはピンクの文字で「uSAGI」と刺繍されている。

華奢な体で連発するアクロバティックかつ俊敏な動きはまさにウサギで、京阪神のダンスバトルの3on3で準優勝を勝ち取った。ダンスバトルでは喧嘩のようなムードにも包まれるが、終われば健闘を称え合い「すごく、さすががいい」関係が生まれるという。

ダンスサイトを立ち上げた。コミュニティの少ない長野県でブレイクダンスの発信元として火付け役ともなり、それが、人の繋がりを大切にするという今のスタイルに結びついた。

スノーボード・ハーフパイプの星だった。ブレイクダンスを始めたきっかけは中3の時。DJをやっていた兄の影響を受け、数多くのHIPHOP文化に触れるうち、ブレイキングという一つの文化を見つけた。

「大学でしかできないことやりたい」。ダンスバトルに出場するだけでなく、イベント設置もこなす団体にも所属。さらにその団体の活動の一環でゴミ拾いなどのマナー活動にも従事してきた。「ダンサーと社会との繋がりになれば」と社会との関係も大切にする。「関大の中でも目についたゴミは処理します。みんなにも呼びかけた」。

凜風館屋上でダンスを披露した後、キャンパス内を散歩中のモルチーズがやってきました。「uSAGI」はその次に駆け寄り一緒に遊び始め、同じ主とも楽しく世間話。ダンサーだけではなく地域の人の繋がりを大切にしてきた。



読上算日本一

糸数めぐみ

課外活動で計算外の収穫も

ずらりと並ぶ計算問題。練習用のプリントを開いて、試しに1問解いた。「36,937,609,522÷85,763」。答を記すまで2秒からなかった。だが、ここで異変が。

「あっつ、スイッチが入ってないです。脳が実戦モードではなかったようだ」「答、合っているかなあ」と首をかしげ、すぐに「ぼつ、大丈夫です」。沖縄県人の笑みがこぼれた。

1回生のとき読上算日本一の座に就いた。富状は153センチの体には抱えられないほど大きくて学生寮には置けず、入学後通っている西宮の珠算塾に飾った。計算女王は頭の中にそろばんをセットしている。バージョンアップを重ね、現在は「11桁の計算ができる」超高性能だ。

小学校低学年時、算数の問題で足の指まで使った足引きをする娘を見て「不安に思った母親がそろばん学校に入れた」のが始まりで、いまや常に、目や耳などが数字を

PROFILE 【いとかず・めぐみ】

1987年7月28日生まれ。沖縄県出身、浦添高一社会学部3回生。平成19年度全日本珠算選手権大会で種目別の読上算競技優勝。関大20年度の主な成績は、フラッシュ暗算競技2位。児童文化実践サークル「うぶ」で活動。座右の銘は「一算入魂」。



捉えれば計算を行えるアイドリミング状態。多くのタイトルを獲り、AO入試も突破しての大学生活に「関大にこの入学制度があって、私は幸せ」と感激している。

ずば抜けた計算力は自他ともに認めるが、関連する特技は「これこれの原因がある」とこの結果になるという事象を、暗記することだ。世界の数知れない原因と結果を蓄積し加減乗除すれば、宇宙の真理さえ見えるかもしれない。

「そんな大それたこと、考えません。それより先日、所属している学内のボランティア団体の関係で、関大OBの公認会計士の方とお話させてもらえたのがうれしくて」。卒業後のターゲットも計算モードに入った。

関大で1番おもしろいヤツ

関大亭茜丸

実はまじめで厳しい第44代学長

「えっ! それはあきません。ム、ムウ」。落語大学の部員が「学外で行う練習風景を、以前よりは見かけなくなったようだ」と指摘され、ピクンと反応した。昨年12月まで第44代学長だった者としての責任感で声が裏返った。

一発ギャグ王 決定戦「関大で1番おもしろいヤツは誰やねん選手権」(昨年10月)初代王者でもある。マサイ族の跳躍を長い柄のモップを持って表現するなど、奇抜なパフォーマンスを繰り出した。「一発芸は、感性の勝負です」と言い切る。

スキあらば笑いを取ろうとする。一方で、落語は古典な多少しずつ自分のものにしていく作業。演じる姿勢はまじめで厳しい。

「自分はその時々いろいろな事情を抱えているかもしれませんが、そんなこと、お客さんは知るよしもない。だからどんな状況でも、ひとりのエンターテイナーとして楽しませないといけません」。

最近は落語の人気も高まってきて、多く

PROFILE 【かんだいてい・あかねまる】

本名・原山敦(はらやま・あつし) 1987年10月14日生まれ。大阪府出身、清教学園高一文学部4回生。阪神タイガース岩田投手が昨年12月に千里山キャンパスで行った凱旋イベントでは、会場の盛り上げに話術で一役買った。自ら好きという演目は「寝床」。



の人に喜んでもらえる。うれしいことだが「ただ、小学校は反応が速いです。小学生にとって、ほくらは一緒にドッチボールをしに来てくれた大学生です。だから、みんなは、ドッチボールしよう」という目で聞いてます」と、また笑いの次元に引きずり込む。

大学に入るまでは引つ込み思案だったというが、動きが楽な。冒頭の指摘の20分後には、KUシンフォニーホール斜めの路上で1年後輩の花の家さざりいと正座で向き合った。これ落語大学!の光景に、ちょうど学外から視察に来ていた3人の紳士までもが「囃の成り行きやかにか…」と足を止めた。

紫紺の征旗 心に掲げ

4人のヒーローが 君たちに送る応援歌

ヒーローたちが母校を飛び立った。サッカー部・大屋翼、馬術部・中谷彩夏、拳法部・中川絵美、アイスホッケー部・高崎敏広は関大4年間で大きな目標に到達し、この春卒業した。後に続く関大生を想い、4人が胸を張って自らの経験を語った座談会は熱かった。題して「君たちに送る応援歌」。

【聞き手、構成＝びあかんず編集スタッフ・齊藤善昭(法3) 佐藤光(法3)】

叱り、叱られた4年間…

—大学生活で部活動などを通じて叱られたり、逆に叱ったりしたことがあると思いますが、印象に残っていることを挙げてください。

高崎 僕がよく叱られたのは、高槻キャンパス事務局の方で部の大先輩からです。入学当初からカイザーズ、関大体育会部員としての心構えを叩き込まれました。それがあからさまな自分があるのと痛感しています。叱ったことはあまりないです。でも練習時間に遅刻したりする人が続出したりしてチームの雰囲気が悪くなったときに、喝を入れたことはありますね。

大屋 僕はよく先輩を叱っていました。自分が入部したの頃、調子に乗ってラフプレーばかりしていた時期があったのですが、そのとき先輩方から選手としての立ち居振る舞いを指導されました。そういった経験があるので、調子に乗ったことを必ず損をするから、先輩たちにそんなことをして欲しくないという思いでよく鞭を飛ばしていました。

中谷 私もよく叱るタイプ。同期の中でもいろいろな役割があるのですが、私は叱る係。特に先輩には謙虚さを持って、客観的に自分を見るように叱ったことが多かったです。私が総監督に「失敗なんか気にするな」と言われた経験があり、それがスランプから抜け出すきっかけになったので、先輩たちにも勝負に積極的に立ち向かってほしいと指導していました。

中川 私は弱気になっていた時、助監督に「お前が負けたら関大は負けろ」と叱咤激励され、下級生という甘えから目を覚ますきっかけになりました。逆に私が怒るということはありませんでしたが、部内でのコミュニケーションには気を配りました。特に新入生が入ってきたとき希薄になりがちでしたが、チームを成り立たせる上でコミュニケーションは大切なので、そこは指導してきました。

学生生活のターニングポイント…

—「開眼した瞬間」はどんなときでしたか。

中川 4年になってやっと開眼しましたね。きっかけは監督からの助言でした。それまではがむしやりにやっていたのですが、「一本一本大切に頑張って」と言われ、心がけるようにしたら成績が伸びました。たとえ4年までいい成績が残せなくても、飛躍する可能性があることを思い知りました。

高崎 中川さんとは正反対に、僕のターニングポイントは1年のときです。長年低迷していたチームの成績を上げるために、先輩に練習メニューを変えるよう直訴しました。そこから先輩と練習について議論しあえる環境ができ、チームのリーグ優勝に影響したと思います。

中谷 私はスランプに陥った時に変わりました。「スランプというのは1回トップに立った者が勝てなくなったときのことを言うんだ」と総監督に言われ、自分はまだトップを取っていない、これ以上上がることはない、いろいろ冷静に考えることができ、結果的に積極的に動いていけるようになりました。

大屋 皆さんのように確かな時期はないんですが、僕は感謝の気持ちが生まれたときですね。自分が所属していたトップチームは良い成績を残さなくてはいけないので優先的にグラウンドを使用させていただいたのですが、その間はほかのメンバーはずっとランニングをしていました。最初はそれを見ていてもなんとも思わなかったのですが、あるとき「あ、俺らのために譲ってくれているんだ」と思うようになり、感謝の気持ちが生まれてから練習に対する姿勢が変わりました。いろいろな人の支えがあって初めてサッカーができると考えられるようになりました。



日々の生活…

—日々の練習や勉強で心がけたことは何かありますか。

中谷 基礎の練習ですね。何事も基本が大切。応用も基本がないとできないです。

中川 私も中谷さん同様、基本練習です。特に私はオーソドックスな拳法を心がけました。基本というのは、しっかり身につけたら強くなるようになっていきます。一番その部分に時間を割きました。

大屋 僕が心がけたのはコミュニケーションですね。100人を超す部員がいる中でもしっかり連帯感を作りたかった。先輩たちとコミュニケーションをとることは、見放されていないと思ってくれるために重要になってきます。部活動以外では、授業への出席をしっかりするようにしました。僕らはプロではなくあくまで学生なので、最低条件の出席だけは心がけました。

高崎 下級生が上級生に意見を言える場を作るためにもミーティングを重視していました。学業では資料を集めることを頑張っていましたね。

新たな目標に向かって…

—卒業後のことですが、2009年ほどどんなことをしたいですか。

中谷 私は関西大学の職員となります。学生さんのサポートをしながら馬術では指導者になりたいですね。

大屋 「ハーイ やべっち」をしたいです(笑)。やべっちFC

というテレビ番組のこのコーナーには、旬な選手が出てくる人が多いです。そのくらいの実力をつけるよう頑張りたいですね。

高崎 僕はアイスホッケーから離れて岐阜県で石の勉強をする予定です。実家が石材店をやっております。将来継ぐときまでにしっかり勉強しておきたいです。

中川 製薬会社のMRとしてバリバリのキャリアウーマンになりたいです。主な仕事は病院まわりです。就活をしながらの部活は、苦ではありませんでした。むしろ気分転換になりましたし、いい相乗効果がありました。将来は拳法の指導者もしたいです。

次代の関大生へ…

—新入生をはじめ関大の学生へ、メッセージをお願いします。

高崎 関大は設備が整っており、勉強をするにも部活をするにもとてもいい環境があります。ぜひ皆さんのしたいことを思う存分してください。

中川 関大は高崎君の言ったように設備が整っているし、さらにすばらしい人材もそろっています。4年間大きな志をもって頑張ってください。

大屋 僕らは「最高で最強」という言葉をモットーにして頑張ってきました。最高のメンバーで最強のチームを作ろうと努力してきましたが、関大はどんなところでもそれを成し遂げることができる環境があると思います。先輩の皆さんもいろんなところで頑張ってください。

中谷 青春は大学1年から始まります。関大魂をしっかり持って日本一を目指してください。

Profile



大屋 翼 (おおや・つばさ)

文学部卒。サッカー部。主将。08年度関西学生リーグ優秀選手。ヴィッセル神戸に入団、DF。Jリーグ開幕戦スタメン。



中谷彩夏 (なかたに・さいか)

商学部卒。馬術部。07年度全日本学生賞典障害飛越競技大会個人優勝。07、08年度同団体優勝。



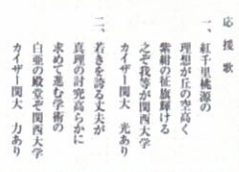
中川絵美 (なかがわ・えみ)

文学部卒。拳法部。05、06、08年度全日本学生拳法個人選手権大会女子個人部の優勝。



高崎敏広 (たかさき・としひろ)

総合情報学部卒。アイスホッケー部。主将。08年度関西学生リーグ優勝。同最優秀選手。



応援歌
一、紅千里桃流の
理想が丘の空高く
奮闘の旗掲げる
カイザー関西大学
カイザー関大 光あり
二、若き者を支え夫が
真理の討究高らかに
求め進む学術の
自愛の殿堂関西大学
カイザー関大 力あり

2009年度全学共通科目群「エンパワメント科目群」(健康・スポーツ・人間支援科目)

関西大学におけるピア・サポートを考える

- 4月8日(水) オリエンテーション**
・大学生としての意識(モラル・マナーなど)
- 4月15日(水) ななめの関係性**
・大学を場とする様々なサポートについて
・“学び”と“学習”
- 4月29日(水)~30日(木) ソーシャルワークショップ-I,II,III(合宿)**
「動機付け・自己理解・他者理解・コミュニケーション」
・エゴグラム等を活用し、自分や仲間の特徴を知る
・一人一人の違いや個性を大切に
・思いやりのこころを体験、ロールプレー等
- 5月13日(水) ソーシャルワークショップ-IV(カウセリングマインドを考える)**
・傾聴訓練
- 5月20日(水) ソーシャルワークショップ-V(ファシリテーション・課題解決)**
・ミーティングの進め方
- 5月27日(水) 関西大学における学生活動(関大のピア)他**
・ピア・サポート入門(ピア・コミュニティならではの組織論)
・プランニング概説
- 6月3日(水) 関西大学の学生として~帰属意識形成他**
・関西大学の歴史(帰属意識形成)
・関西大学の組織
・ピア・サポートをプランニングしてみよう!

「ピア(仲間)・サポート(助け合い)」を学び、実践することで、主体的に考え行動する力、計画的に企画を遂行する力、チーム(仲間)で何かを創りあげる達成感、そして誰かの力になれる喜びの獲得が期待されます。本講義は、大学生活を送るために必要な人間力、さらには関西大学の学生であるという帰属意識のもとに、学内でピア・サポートを実践することによって就職時に求められる社会人基礎力を育成することを目的としています。1・2年次配当科目として、学内でピア・サポートを実践するために必要なスキルを学び、その実践までいざなう科目です。本講義「関西大学におけるピア・サポートを考える」は、関西大学での学びを充実させるきっかけになるはず。あなたも受講してみませんか?

- 6月10日(水) 関西大学(教養センター・入試センター・学生センター)で活躍する学生サポートの実態**
・ピア・サポートをプランニングしてみようII
- 6月17日(水) ピア・サポートをプランニングしてみようIII(グループワーク)**
・事例にもとづいたワークショップ、ブレインストーミング
・企画書作成のためのグループディスカッション
- 6月24日(水) ピア・サポートをプランニングしてみようIV(グループワーク)**
・事例にもとづいたワークショップ、ブレインストーミング
・企画書作成のためのグループディスカッション
- 7月1日(水) 大学生の間に何を学ぶべきか~社会人基礎力の育成へ~(公開授業)**
・卒業後について、社会人基礎力とは
・ピア・サポートが育む社会人基礎力
- 7月8日(水) まとめ**
・キャンパス・ライフをどのように考えるか

4月22日(水) 大学生のマナー・モラルを考える ~薬物問題を中心に~

公開講座 担当:水谷 輝

【時 間】3限(13:00-14:30)、4限(14:40-16:10)
※3限、4限の2回講演です。両時間とも同じ内容です。

【場 所】関西大学 千里山キャンパス第二学舎 BIGホール100

【参加資格】本授業を履修してなくても聴講(参加)は自由です。

【予約等】予約制ではありません。入場は先着順です。

これから実施のプログラム

授業ではなかなか学べない講座や、昨年大好評だった「おもしろやつ選手権」、今年から始まる「すごいやつ選手権」などのイベントも目白押しです。みなさんぜひ多くのプログラムに参加してみてください!

自己啓発 健康 エンターテイメント

※参加費はすべて無料です。
※下記内容は変更することがあります。詳しくは各課にお問い合わせください。

<p>下宿生のための料理教室 ~下宿生以外の方も参加できます~ 【日時】4月28日(火)~19:10~19:40 【場所】瀬風館2階 生協食堂 【定員】20名 【対象】学生生活課</p>	<p>救急救命講習 ~是非知っておきたいAEDの知識。修了証授与~ 【日時】6月16日(火)・17日(水)13:30~17:00 【場所】16日:瀬風館4階 ミーティングルーム 17日:新関西大学学生会館南棟1F 【定員】30名 【対象】学生生活課</p>
<p>感染症対策 麻疹抗体検査(高機) 【日時】4月27日(月)~28日(火)13:30~16:30 【場所】高機キャンパス 保健室 【対象】高機キャンパス 保健室</p>	<p>大学生の工場見学(人気の神戸グリコピア) ~ボツキーももらえます!~ 【日時】6月24日(水) 【場所】神戸グリコピア 【定員】40名 【対象】学生生活課</p>
<p>感染症対策 麻疹抗体検査 【日時】5月7日(木)~13日(水)※土日のぞく 7月1日(水)~3日(金)13:30~16:30 【場所】保健管理センター 【対象】保健管理センター</p>	<p>パーソナルカラー講座 ~あなたに似合う色、知っていますか?~ 【日時】7月2日(木) 【場所】瀬風館4階 ミーティングルーム 【定員】30名 【対象】学生生活課</p>
<p>手話講習会(初級コース) 【日時】5月13日(水)~7月1日(水)毎週水曜日 全8回 14:40~16:10 【場所】瀬風館4階 小ホール 【対象】ボランティアセンター事務局</p>	<p>アルコールバッチテスト 【日時】7月7日(火)~8日(水)14:00~17:00 【場所】保健管理センター 【対象】保健管理センター</p>
<p>地方出身の新入生必見 実践!大阪弁講座 ~身近な大阪弁、見直してみませんか?~ 【日時】5月14日(木) 【場所】KUシンフォニーホール 【対象】学生生活課</p>	<p>アルコールバッチテスト(高機) 【日時】7月9日(木)~10日(金)12:30~15:30 【場所】高機キャンパス 保健室 【対象】高機キャンパス 保健室</p>
<p>「自分を好きになる」講座 【日時】5月22日(金)~6月26日(金)毎週金曜日 全5回18:10~19:40 ※6月5日(金)は除く 【場所】瀬風館4階 ミーティングルーム 【対象】ボランティアセンター事務局</p>	<p>TDS講習会 ~トレーニングマシン使用のための講習会~ 【日時】毎月4回(夏季休業期間は除く) 【場所】中央体育館 【定員】30名 【対象】スポーツ振興課</p>
<p>すごいやつ選手権 ~関大のすごいやつを目の当たりにしてみないか!~ 【日時】5月28日(木) 【場所】悠久の庭 【対象】学生生活課</p>	<p>禁煙指導 【日時】開室時間内ならいつでも可 【場所】保健管理センター/高機キャンパス 保健室 【対象】保健管理センター/高機キャンパス 保健室</p>
<p>ファシリテーショントレーニング講座 【日時】6月4日(木)~18日(木) 毎週木曜日 全3回14:40~16:10 【場所】瀬風館4階 ミーティングルーム 【対象】ボランティアセンター事務局</p>	<p>血圧・体脂肪測定 【日時】開室時間内ならいつでも可 【場所】保健管理センター/高機キャンパス 保健室 【対象】保健管理センター/高機キャンパス 保健室</p>
<p>フィールドワーク「かんでんエルハート」訪問 ~人権問題について考える~ 【日時】6月10日(水) 【場所】かんでんエルハート 【定員】40名 【対象】学生生活課</p>	

国際コミュニティ“KUブリッジ”

「留学生支援パートナー」活動も

関大には留学生が何人いるか知っていますか。506人います。留学生から様々な悩みを聞く中で「何か力になれないか」という目的で作られたのが、国際コミュニティ“KUブリッジ”です。

現在、このコミュニティには30人のメンバーがおり、留学生支援のために活動を行っています。昨年日本文化交流会を行いました。日本の文化である百人一首、書道、将棋、折り紙などを紹介し、体験してもらいました。また、交流を通して日本人学生と留学生がお互いのことを知りあう機会にもなりました。留学生たちの多くはこの文化交流会で新しい発見や驚きがあり、また、「これまでは、日本人学生と触れ合う機会が少なかったの楽しい時間を過ごすことができた」と感想を述べていました。

4月1-4日にはキャンパスツアーとハンドブックの日本語相談会を実施します。キャンパスツアーでは在学中によく利用すると思われる学内の施設を留学生に紹介します。また、ハンドブックの日本語相談会では入学時に配布されるハンドブックについて、その内容をわかりやすく留学生に説明します。当日、ブースでは日本人学生と留学生の交流ができるようになっています。この活動を通して、留学生が入学時に困っていることをサポートし、楽しく学生生活を送ってもらえるようにしていきたいです。

これからも、わたしたちKUブリッジのメンバーは留学生支援パートナーなど留学生支援のために様々な活動を行っていきたく思っています。興味のある方は、一度、イベントに参加してみてください！



胸が躍った 国際交流



ワークショップ開催します

関大生の皆さん！ピア・サポートをご存知ですか？昨年、関大では新たな試みとして授業を設けたり、凧風館でピア・サポート養成講座を開催しました。まだまだ学内の認知度は高いとは言えませんが、今後も関西大学でのサポート活動に向けて準備を進めていく予定です。

そもそも「ピア・サポートってなに？」と疑問を抱かれる方、たくさんいらっしゃるのではないのでしょうか？簡単に説明すると、ピア・サポートとは…「関大生が同じ大学の仲間（ピア）を支援（サポート）する」、つまり学生がお互いに支えあって、自分たちの大学をより居心地よい環境にしよう！という意味を持っています。また、この活動を通じて社会人として必須であるコミュニケーション能力を含む「人間力」というものを、在学中に身につけられるという効力を持っています！！

この機会にぜひ参加してみてください！「スポー

みなさんの活動をお手伝いします

学生支援室は、学生による各種ピア・サポート活動の支援をするところです。「ピア・サポートには興味があるけどよくわからない……」「ピア・サポートをやってみようけどどのようにすればいいの？」という学生へのアドバイスや、教職員と学生がうまく連携できるような構想をしたりするのが主な役割です。講義「関西大学におけるピア・サポートを考える」の運営サポートや、ピア・サポート活動にまつわるさまざまな企画を実施しています。また、各ピア・コミュニティのバックアップをしたり、本事業の成果について調査を実施したりと、幅広く活動しています。

学生支援室にはTA（ティーチングアシスタント）・RA（リサーチアシスタント）と呼ばれる大学院生が主に

勤務しています。TA・RAとも普段は関西大学の一学生です。お互いに支え合いながら、さまざまな活動をしています。私たちはみなさんの活動のお手伝いをしていますが、ピア・サポート活動の主人公はあくまで関大生であるみなさんです。学生支援室は凧風館の4階にあります。開室状況はホームページに毎月掲載しています。ピア・サポート活動について私たちに質問したい人は、気軽に来てください！

みなさんのご協力を一同お待ちしております！

学生支援室ホームページ

<http://www.kansai-u.ac.jp/gakusei/gp/support/>

ピア・コミュニティに参加しませんか？

さまざまなメリットのあるピア・コミュニティ。大学に入学して何か始めようかと迷っている方はぜひ参加してください。もちろん新入生以外も随時募集しています。大学4年間はあっという間に過ぎてしまいます。あなたの学生生活をより充実したものにしませんか？



さまざまな人たちと交流できます

学部や学年を越えてさまざまな人たちと交流することができます。「コミュニケーション能力を養うことができます。」



やりがいのある活動ができます

大学や教職員のバックアップを受け、全学的な活動ができます。また自ら考えて企画し活動することで「企画力」「実行力」「課題発見能力」や「問題解決能力」を身につけられます。



大学から活動を証明してもらえます

申請があれば、ピア・サポート活動証明書を発行します。大学生生活を送る中で、このように活動の証明を受けられることは多くありません。

活動拠点は凧風館1階にあります！

凧風館1階に白いついて仕切られたスペースを、皆さんはもうごらんになったでしょうか？



あのスペースは、昨年設置されたピア・コミュニティの窓口となる「ピア・コミュニティールーム」です。ピア・コミュニティールームは今後ピア活動の拠点として、また様々なピア活動をサポートする場として活用していく予定です。2009年4月から開放しますので、ピアに関して疑問に思ったり、関心を持った方は気軽に訪ねてください。楽しみに待っています。みなさんとのピア・コミュニティづくりのために、「ピア・コミュニティールーム」を一緒ににぎやかにしましょう。

今年も出動しました 受験生応援団



今年も関西大学入学を目指す受験生を、現役学生が千里山キャンパスで「ピア・サポート」しました。関西大学応援団のリーダー部、吹奏楽部、バトン・チアリーダー部、ピア・コミュニティ運営本部や「KUブリッジ」などのピア・サポートたちが、大学職員と一緒に「受験票を確認してください」「第1学舎で受験の方はこちらへ進んでください」と声をかけ続けました（写真）。緊張の面持ちだった受験生がバッグの中の書類をチェックしてひと安心するなど、その応援は効果的でした。晴れて関大の門をくぐった新入生は、受験時に関大前駅や正門前などで見かけた先輩の顔を思い出しているかもしれませんね。



阪神岩田穂投手を応援

阪神タイガース岩田穂投手(06年卒)を応援する「関大岩田会」が昨年12月の結成時宣言どおり、勝手に応援ツアーを敢行。2月11日に沖縄・宜野座で春季キャンプ中の岩田投手を訪ね、熱いメッセージを伝えることに成功した。



●岩田穂投手(左)に応援メッセージで埋まったウインドブレーカーを手渡す関大岩田会・森安義次代表 ●宜野座球場で応援したツアー参加メンバー

関大岩田会が沖縄へ

暖が低い岩田投手

「あ、あ」。関大岩田会代表・森安義次は息を飲んだ。先陣・岩田穂投手の姿が視界の中で次第に大きくなっていく。これはもう、確実に応援ツアー一行のもとへ歩み寄ってきている。あー、ついに目の前に。「沖縄までわざわざ応援に来てくれて、ありがとうございます」。岩田投手はベコリと頭を下げて。学生9人は固まった。

WBCがらみて予定変更

当初は、阪神タイガース一軍が高知県安芸市へ移動する2月中旬からの安芸キャンプ応援ツアーを計画した。大阪から貸切バスで乗り込むつもりだった。ところが、岩田投手がWBC(ワールド・ベースボール・クラシック)の日本代表候補となり、その練習が行われる宮崎へ行ってしまふ。ならば、関大岩田会は確実に岩田投手を応援することができる沖縄へ飛ばう、宜野座へ行こうと「勝手に応援ツアーin沖縄」を決行したのであった。

2月10日に那覇市に入り、11日には宜野座へ。貸切バスで到着し、快晴。ここまではよかったが、野球場内部が見えてきて驚いた。予想以上に人だらけ。この日は、名産でキャンプ中の日本ハムがやって来て練習試合が組まれており、他チームとの実戦を待ち望んでいた沖縄の両チームのファン、関西からの阪神ファンを含めて2万人を軽く超えたといわれた。先発マウンドは阪神が岩田投手で日本ハムはダルビッシュ投手と、願ってもない顔合わせ。つめかけた人たちが大喜びする分だけ、岩田会メンバーの活動スペースも限られた。

勝手に広げた横断幕

やっとの思いで外野芝生席に陣取り、岩田投手が投げた1回表だけ校章入りの横断幕を広げて声援を送った。これで「勝手に応援」の最低限の目標は達成した。ここから先は、できることならばの願いで、岩田投手に直接会い「頑張ってください」と言いたい。関大野球部OBで阪神の竹内孝行広報課長が岩田

投手に「関大岩田会が来る」ことを伝えてくれていた。しかし、岩田投手は先発で注目。報道陣の取材が集中する。投げた後の体のケアも重要。さらに宜野座からのテレビ中継を、衛星放送チャンネルに加えてこの日は地上波局も行うことになり、竹内先輩は猫の手も借りたほど大忙し。岩田先輩との面会は、あきらめなければならぬ状況だった。

気持ち伝えた学歌斉唱

夢が現実となったのは、投手陣をはじめ選手がランニング練習を中心にグラウンドでのこと。岩田投手は試合で1回を3人でピッチャリ。テレビ局、新聞社などからの取材も受け、投手の日課でもある走る練習にやってきたのだ。この動きをキャッチした岩田会メンバーは球場から移動し、グラウンドの端で再び横断幕を広げた。これだけでは足りないと思った。そう思うと、学歌が口をついて出てきた。朝、来るときのバスの中、全員で歌った学歌、応援歌、選運歌。そのときと同じく、気持ちはずっとつながっていた。岩田先輩にも伝わった。目の前まで来てくれた。

固まっていた学生たちが、握手をし、さらに「応援メッセージ」を手渡した。体育会を中心に学生たちがすぎ間もないほど言葉を書き込んだウインドブレーカー。今回の応援ツアー参加の9人はTシャツに熱い気持ちを記した。

次の舞台は甲子園

勝手に応援ツアーは大成功。那覇に戻り、食事をしながら一日を振り返ってまた笑顔になった。「次は甲子園で勝手に応援や!」。店を出ると誰が言い出すともなく肩を組んだ。関大選運歌が沖縄の夜空に響き渡っていた。

飛んだ

ピア・スポーツ コミュニティ

「強い絆で」

ピア・スポーツコミュニティは3月25日に高槻キャンパスで「関西大学スポーツ祭」を開催しました。国際コミュニティ「KUブリッジ」と連携し、スポーツに国境はないということもテーマに挙げて留学生も参加、数種目のスポーツに心地いい汗を流しました。スポーツが好きな人の「気持ちのストレートさ」「熱い心」など、分かりやすい面を押し出しながら、関大であるつながりを大切にしていければと、08年11月に発足しました。「関大岩田会」の結成は、ピア・スポーツコミュニティのメンバーが大切にしている「絆」の強さの表れです。

4月からは、新入生を対象にした催しなども展開予定で、インフォメーションなどお知らせします。



岩田投手凱旋トークイベントで 関大岩田会結成宣言

今年は**日本一**の
土産話を



岩田穂投手は昨年12月12日に千里山キャンパス・BIGホール100で「凱旋トークイベント」を行った。2006年に阪神へ入団した期待の星も、07年まで2年間は一軍での勝利はなかった。だが、地道な練習の積み重ねと3年目の奮起で08年は一気に二ケタの10勝をマーク。苦しい時期も経験し、見る人に勇気を与えるプロ野球選手となって母校へ帰ってきたのだ。

トークイベントでは、大阪桐蔭高校2年時に1型糖尿病を発症し関大野球部時代から現在までインシュリン注射を打ちながら生活している話や、07年までと08年の投球内容の変化など、「トラの岩田」のさまざまな面を、生真面目な話しぶりで披露した(●写真の左が岩田投手。右は高岡淳前野球部監督)。

このイベントの最後にステージに上がり、岩田投手と対面したのが「関大岩田会」メンバー。森安義次

(柔道部主将)三好真人(少林寺拳法部主将)鳥居貴久(拳法部主将)渡邊健太(体育会本部長、拳法部)高山真吾(応援団団長)の5人(●写真の右から=いずれも今年3月卒業=左端は岩田投手)で、タイガースのユニホームを着込んだ。代表して森安が「キャンプ地や球場へ勝手に応援に行きます」などの活動予定を表明し、岩田投手の了解を得たあと、高らかに結成宣言を行った。



関大 山柳

第1回

最優秀賞

かきわけて

君の手を引く

学園祭

◆アナログタイプ(情)



優秀賞

実際は

けっこう歩く

関大前

◆ヤヤン(文)

名神で

看板見ると

自慢する

◆ヤンヨーステン(法)

彼女なし

でもノートだけは

モーテモテ

◆ビクミントン(法)



カイザース 世界にははたけ 体育会
選刺でも エスカレーター 立つて乗る
夢だつた オレンジテイズ 過ごしてる
びあかんず 輪を広げよう 関大生
落こし物 やつと見つけて 笑顔もっつ
では、おあとがよろしいようで……
毎日締め 如月娘 初講評 (評者駄句)

(イラスト: 法学部 松田華奈)

どこにある?

年が明けて完成した5号門(写真手前)と坂道を登りきったところの学舎屋上に設置された「関西大学」の看板(写真奥)。さて、この2つは千里山キャンパスのどこにある? 看板は名神高速道路下り(豊中IC方面行き)から見えます。上りでは社会学部の高層学舎のものが見え、学内でもよく目に留まります。5号門の近くには、昨年9月から運行している阪急バスの「関西大学(山手ゆにわ遊園前)」停留所があり、JR吹田北口が始発・終着です。



われ

関'S

山柳とは「季語や切れ字などの制約はなく、口語を使い、人生の機微や世相・風俗をこっけいに、また風刺的に描写するのが特色」(大辞泉)とある。俳句と違い、比較的自由に何より風刺的な描写が必要なようだ。今回の「関大川柳」には「びあかんず」スタッフをはじめ、学生センター職員も挑戦した。全応募作品に目を通すと、たつた17字の川柳から作者の学生生活や大学に対する想いはもちろん、世代や性別、その人の性格までもが表れているものもあり非常に面白い。総合情報学部の学生は「一日の 疲れを癒す 夜景かな」など高槻キャンパスについての作品が多かった。「泡はしげ 今はその理由(わけ) 関大で」これはバブル期を過ごしたアラフォー学生からの応募である。20代の学生にはよめない句だろう。「一年中 必ずどこか 工事中」など風刺を交えた句や「どこいった 入学当初の あのやる気」などちょっと悲しいものもあり、関大川柳にはまさしく「学生の想い」が詰まっていた。その人の想いが凝縮した17字。家族や恋人、友人とのコミュニケーションに川柳を送り合ってみてはどうだろう。じっくり話すことも少なくなった両親にさっそくメールでお題を送ってみた。「娘に対する今の気持ちを川柳で」。その日のうちに10句近くも返信してきたところをみると私に言いたいことがたくさんある様子。わくわくしながら聞くと「運ばばたて たてば稼げの 親心」「幼子が あつというまに 三十路入り」「春過ぎて 焦る気もなし 潔し」。複雑な気持ちで早速メールに保護をかけた。

[K・K]